

2026年
2月1日
第504号



JR東海労



〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-6-5

TEL 03-3201-0350 FAX 3201-0351

Eメール jrtoukairou@yahoo.co.jp

JR東海労働組合

発行人 淵上 利和
編集人 高山 浩

http://jrtoukairou.sakura.ne.jp/



新幹線地本は1月11日、都内で旗開きを開催しました。伊藤委員長は、年頭所感で「トランプ政権によるベネズエラ軍事侵攻、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエルのパレスチナ人ジェノサイドなどの事態は、権力者の利害のためだ。あらゆる戦争に反対する労働者階級の連帯の輪を一層押し広げよう。診断書強要行政訴訟と訴えました。」



来賓の本部淵上委員長、地本OB会田中会長から挨拶があり、田中会長は「理論から現実を解釈すべきではない。まず現実を知ることだ。意見が違ふから排除するのではなく、現実を分かち合おうことが必要。JR総連は、不当解雇を支援しないというまでに変質



結成してストライキを闘った民間労組の仲間より、「到達点と課題」と題して講演を受けました。「人手不足と作業時間の短縮を競争させるなどで労働強化が進んでいる。正社員は休憩も取れず長時間労働を強いられる。他職場より成果を上げれば給料が上がるかもという職場主義に陥らないことが大事だ。アルバイトだという意識があつて引いてしまうことがあつたが、もっと積極的に職場の問題や組合の運動の成果を広げていかなければと思う」と、教訓点を語りました。

静岡地本は1月19日、浜松市内で旗開きを開催しました。半場委員長は、年頭所感で「いかなる理由があろうともベネズエラへの軍事行動は許さない。武力による紛争の解決は認めない。OBの鈴木直さ

静岡地本は1月19日、浜松市内で旗開きを開催しました。半場委員長は、年頭所感で「いかなる理由があろうともベネズエラへの軍事行動は許さない。武力による紛争の解決は認めない。OBの鈴木直さ

名古屋地本は1月12日、名古屋市内で旗開きを開催しました。松山委員長は、年頭所感で「JR総連と決別を受けて以降、何ら制約を受けないことなくJR東海労らしい闘いを展開してきた。まさに、JR総連からの呪縛から解放された。名古屋の地からも私たちの運動をつくり出した。5月に開催したリニア学習会を通じて、地域の現状を把握し、地域の皆さんと連携を深

名古屋地本は1月12日、名古屋市内で旗開きを開催しました。松山委員長は、年頭所感で「JR総連と決別を受けて以降、何ら制約を受けないことなくJR東海労らしい闘いを展開してきた。まさに、JR総連からの呪縛から解放された。名古屋の地からも私たちの運動をつくり出した。5月に開催したリニア学習会を通じて、地域の現状を把握し、地域の皆さんと連携を深

名古屋地本は1月12日、名古屋市内で旗開きを開催しました。松山委員長は、年頭所感で「JR総連と決別を受けて以降、何ら制約を受けないことなくJR東海労らしい闘いを展開してきた。まさに、JR総連からの呪縛から解放された。名古屋の地からも私たちの運動をつくり出した。5月に開催したリニア学習会を通じて、地域の現状を把握し、地域の皆さんと連携を深

第二部は、専任社員契約の満了を迎え退職をされた丹羽成生さん、東敏也さん、森田均さん、鈴木秀和さんの慰労会を行いました。森田さんはご都合により欠席されましたが、3名に松山委員長の労いの言葉、それぞれゆかりのある組合員から記念品と感謝の言葉が送られました。

平和・人権・民主主義を守ろう！ JR東海労の組織展望を切り拓こう！ 各地本2026年新春旗開き開催

各地本は1月、2026年新春旗開きを開催しました。JR総連と決別し1年が経過し、JR総連ではできなかった闘いの成果を確認すると共に、JR東海労の組織展望を切り拓く闘いを意思統一しました。また、経営破綻がより確実となったリニア建設中止の闘いや、戦争をする国づくりを許さない闘いなどの課題についても、闘うことを確認し、成功裡に終了しました。

名古屋地本は1月12日、名古屋市内で旗開きを開催しました。松山委員長は、年頭所感で「JR総連と決別を受けて以降、何ら制約を受けないことなくJR東海労らしい闘いを展開してきた。まさに、JR総連からの呪縛から解放された。名古屋の地からも私たちの運動をつくり出した。5月に開催したリニア学習会を通じて、地域の現状を把握し、地域の皆さんと連携を深

また、「再審法改正(刑事訴訟法の一部改正案)」を速やかに審議・可決することを求める請願書の署名を、半場委員長から寺澤共同代表に手渡しました。

新幹線関西地本

新幹線関西地本は1月12日、大阪市内で旗開きを開催しました。笹田委員長は、年頭所



感で「JR総連から決別した最大の理由は、JR総連がJS労を否定した、労働者の連帯を否定したからである。JS労に続き、JE労が結成された。組織的基盤をいかにつくり出していくのかというのを抜きに組織展望はあり得ない。地本はJS労とJE労の仲間とともに固く連帯をして闘う。津崎・熊谷裁判、休憩裁判に共感するJR西労の仲間が傍聴に参加し、JRひがし労の仲間たちも支援激励をしてくれている。今日まで裁判闘争をつくり出してきた

ことにより、労働者としての連帯が広がっている。診断書強要行政訴訟で勝利判決を勝ち取った。高裁判決の意義を認識した上で、まずは団交をやれと、業務委員会を受けけるわけにはいかないという我々の基本スタンス、基本姿勢をハッキリさせていく。建設費が11兆円に倍増したリニア建設は、経営破綻の恐れが鮮明になった。建設費を捻出するために、業務改革、JRグループビジョンという効率化・コスト削減がやられている。反対の声を上げていく。今後、大きな国会情勢の変化、政局と改憲勢力の動向についても目を向けな

がら、政権与党に騙されず、誤魔化されず、真実を見抜き、私たちに賛同・共感してくれる仲間と共に労働者の生活を守るう」と訴えました。来賓の本部斉藤副委員長、本部OB会増田会長から挨拶の後、2つの裁判プロジェクトの報告がされました。増田会長は、松寄明さんの言葉を引用し、「かつての国労民同でさえ、OBになってから、自らの組織を混乱させ壊すような真似はしなかった」と、変質したJR東海労OB会の脱退者を厳しく批判し、「OB会は現職の皆さんと共に闘い抜く」と決意を述べました。

はじめ、JR総連がJR東海労組合員を組織破壊者として除名に追い込むための嘘が白日の下に明らかになります。弁論終了後、本部は報

告集会を開催し、被告らをも更に追及して闘うことを全体で確認しました。次回第8回口頭弁論は4月22日です。

る。ジョブローテーションで人間関係が崩され、職場は荒廃した。会社が社友会をつくり、意見を言えない社風にされ、事故が増加した。組織体制は36事業本部として、支社の概念がなくなる。併せて、新たな人事・賃金制度が導入されようとしている。しっかりと立ち向かう」と、報告がされました。そして、職場報告やそれぞれの取り組みなどの発言がされました。

JR労働運動に新たな潮流を！ 敬松塾春季講座に参加

敬松塾(けいしようじゅく)2026春季講座が1月27日、さいたま市内で開催され、JRのOB、JRひがし労、JR東海労合わせて80名が参加しました。今講座は、「JR職場の今!!労働組合の今後を語ろう」というテーマで行われ、座長は平山運営委員が行いました。

田中塾長は、入院して参加できない元JR東海労組委員長で初代塾長の柚木さんのメッセージを代読した後、「今研修で、新たなスタートを切った。アメリカの9・11同時多発テロが起き、松寄

さんは『鬼の咆哮』を発売した。その後、JR浦和電車区事件がデッチ上げられたが、JR東海労組指導部は『松寄さんが発刊したから事件が起きた』と、松寄さんに責任を転嫁した。絶対に許せない。松寄さんが行っていた5年・10年先を見据えた運動づくりを私たちが実践しよう」と挨拶しました。

争うのか認めるのかハッキリせよ! 証拠の事実認定に裁判所は困らない 津崎・熊谷裁判第7回口頭弁論

津崎・熊谷裁判第7回口頭弁論が1月21日、大阪地裁で開催されました。

被告側の傍聴者は、前回より2名増えたものの、JR総連3名を含むわずかに8名でした。

裁判長は「主張は双方ほぼ出揃った。争点整理が終われば尋問に移れる」と述べました。

弁論では、原告側から「前回被告代理人は『事実関係ではなく名誉毀損

の該当性について争う」という趣旨の発言をした。しかし、その後に出された書面(被告準備書面4など)で、未だに多くの事実について『否認ないし争う』と主張し態度を翻した。事実について争うのか、争わないのか、ハッキリさせてほしい」と訴えました。また被告側の逃げを許さないため、証拠として提出した一つひとつの事実、及び求釈明に対して、認めるのか認めないのかを明確にするよう、裁判所に「訴訟指揮」を求めました。

裁判所は、原告側から多くの証拠書類が出されており、判決を出す際の事実認定において、「(被告側の認否がどうであれ)裁判所は困らない」との見解を示しました。また争点の絞り込みについて裁判所は、「一部の否認(JR総連第7回執行委員会での報告事実)はあるものの、基礎となる事実については原告側の証拠があるため、大きな問題にはならない」との認識を示しました。



今後は次回期日で原告側から「被告準備書面4」「熊谷被告準備書面」に反論する「準備書面」を提出し、争点整理を終了させる予定です。その後、いよいよ証人尋問が行われ、津崎・熊谷両被告を

春の闘いに結集しよう!

- 第39回定期中央委員会 2月11日 名古屋市内
- JR東海労連第3回定期大会 2月11日 名古屋市内
- JR東海労・JRひがし労合同春闘学習会 2月17日 東京都内
- 新幹線地本第31回地本委員会 2月22日 東京都内
- 新幹線関西地本第31回地本委員会 2月22日 大阪市内
- 名古屋地本第36回地本委員会 2月22日 名古屋市内
- 静岡地本第35回地本委員会 2月24日 静岡市内
- JR東海労・JRひがし労2026春闘総決起集会 3月3日 東京都内